

076

特定の種類のセルだけを処理したい

chap5_076

2002 2003 2007 For Each...Next SpecialCells 初級 中級 上級

対象のセル範囲内で「数式」や「定数値」など特定の種類のセルだけを操作したい場合があります。各セルをチェックし、目的の種類のセルだけを処理する方法もありますが、ここでは対象のセルを絞り込む方法を紹介합니다。

A	B	C	D	E	F	G	H
会員番号	氏名	商品名	購入者番号	購入者氏名	購入金額	税込価格	
1	山田良夫	明太子セット	2	田中健二	9000	9450	
2	田中健二	ハム・ソーセージ	8	佐藤俊夫	5000	5250	
3	鈴木華子	タラバガニセット	6	高岡淳夫	12000	12600	
4	中村四郎	霜降り牛肉セット	1	山田良夫	10000	10500	
5	高田順子	季節の果物セット	3	鈴木華子	8000	8400	
6	高岡淳夫						
7	小島良子						
8	佐藤俊夫						
9	橋本直子						
10	村田武雄						

1 氏名を表す数式の末尾に「様」と追加したいワークシートを表示します。

2 VBEを開き、標準モジュールがない場合は作成します（70ページ参照）。

```

Sub GMacro076()
  Dim Rng As Range
  For Each Rng In Cells.SpecialCells _
    (xlCellTypeFormulas, xlTextValues)
    Rng.Value = Rng.Formula & "&""様""
  Next
End Sub
    
```

3 標準モジュールに右ページのコードを入力し、Excelの画面に戻ります。

A	B	C	D	E	F	G	H
会員番号	氏名	商品名	購入者番号	購入者氏名	購入金額	税込価格	
1	山田良夫	明太子セット	2	田中健二様	9000	9450	
2	田中健二	ハム・ソーセージ	8	佐藤俊夫様	5000	5250	
3	鈴木華子	タラバガニセット	6	高岡淳夫様	12000	12600	
4	中村四郎	霜降り牛肉セット	1	山田良夫様	10000	10500	
5	高田順子	季節の果物セット	3	鈴木華子様	8000	8400	
6	高岡淳夫						
7	小島良子						
8	佐藤俊夫						
9	橋本直子						
10	村田武雄						

4 数式の末尾に文字を追加するマクロ「GMacro076」を実行します。

5 作業中のワークシート内にある、結果が文字列になるすべての数式の末尾に「様」という文字が追加されます。

文字列を返す数式だけを処理するマクロ

現在作業中のワークシートのすべてのセルを表す「Cells」に対して、「SpecialCells」(131ページ参照)で、戻り値を文字列として返す数式が入力されたセルだけを取り出し、そのセル1つひとつについて、数式の末尾に「&"様"」という文字列を追加します。この例のように、VBAで「"」(ダブルクォーテーション)そのものを文字列として指定したい場合は、その部分を「""」のように二重にします。なお、ワークシートに数式が1つもない場合、このマクロはエラーになるので注意してください。

変数の宣言

セルを表す「Rng」というオブジェクト変数を宣言します。

セル範囲の抽出

対象のセル範囲のうち、指定された種類のセルだけを抽出します。

抽出条件

ここでは、数式で、その計算結果が文字列であるセルを指定します(131ページ参照)。

Sub GMacro076()

Dim Rng As Range

For Each Rng In Cells.SpecialCells _
(xlCellTypeFormulas, xlTextValues)

Rng.Value = Rng.Formula & "&"様""

Next

End Sub

要素ごとに繰り返し

対象のセルの集合に含まれる各セルについて、以降の処理を実行します。

数式の変更

対象のセルに入力されている数式の末尾に、文字列を追加しています。

もっと使いこなすには?

他の種類のセルを処理する

ここでは、「SpecialCells」で計算結果が文字列になる数式が入力されたセルだけを処理対象としています。結果が数値になる数式が入力されたセルを対象としたい場合は、「xlTextValues」の部分を「xlNumbers」に変更します。また、数式ではなく、データそのもの(定数)が入力されているセルを対象としたい場合は、「xlCellTypeFormulas」の部分を「xlCellTypeConstants」に変更します。この場合も、そのデータの種類の種類として、第二引数で「xlTextValues」(文字列)または「xlNumbers」(数値)を指定可能です。